

NARレスキュースリーブ II 使用説明書

レスキュースリーブ II の使用に際しては：

- ・使用前に本説明書を熟読して下さい。
 - ・レスキュースリーブ II を適切に扱うには 3 人の搬送者が必要です。
 - ・使用前に必ずトレーニングを行って下さい。
 - ・救急関係者もしくは医師の指導の下に使用して下さい。
 - ・付属品等が全て揃っているか点検して下さい。
1. **レスキュースリーブ II** をキャリングバッグより出し、ベストとストラップを開き、使用前点検を行う。
 2. **レスキュースリーブ II** の下方のベルクロポケットを開ける。サポートボードをポケットにスライドさせる。ベルクロと 3 ケのバックルでポケットをしっかりと止める。
 3. 傷病者の体を真っ直ぐ（頭部、手足を真っ直ぐ）にして、サービカルカラーもしくは医師の指示した似たような器具を傷病者の頸部に充てる。
 4. 傷病者の体を真っ直ぐ（頭部、手足を真っ直ぐ）にして、傷病者の体をログロールし、その下に**レスキュースリーブ II** を滑り込ませる。
 5. 引き続き、傷病者の体を真っ直ぐ（頭部、手足を真っ直ぐ）に保ちながら、傷病者を静かに**レスキュースリーブ II** の中央にログロールする。
 6. 上側のベストを傷病者の脇の下にぴったりと置く。傷病者の周りを上下のベストで包み、ベルクロで止める。吊り上げる時に胸腔処置をする必要があるなら、チェストフラップは付けなくても良い。傷病者の頭の周りにヘッドブロックを置く。額用のストラップをつける。傷病者が自呼吸が出来て、呼吸補助具を用いず、当該救助隊の手順に沿っているなら額用のストラップを使用しても良い。
 7. 全てのストラップをしっかりと止める。傷病者の腕は黒のストラップの外側になるようにする。しかし、黄色のストラップの内側でも良い。
 8. **これまでの工程をもう一度確認、点検する。**
傷病者は**レスキュースリーブ II** に固定され、搬送出来る。

仕様



| | |
|-------|---|
| 製品名： | NAR レスキュースリーブ II |
| 製品番号： | NAR5011 (ブラック) |
| 使用時： | 約 185x51x5cm |
| 折畳時： | 約 51x30x13cm |
| 重量： | 約 6.4kg |
| 耐荷重： | 453.6kg |
| 材質： | 本体：ビニールラミネートナイロン ヘッドブロック：ビニールラミネートナイロンフォーム ストラップ：ナイロン ハンドル：ポリプロピレン |
| 付属品： | キャリングバッグ 1ヶ ヘッドブロック 2ヶ 額 / 額用ストラップ 各1本 |

NAR レスキュースリーブ II 関連機器
NAR5010 ACE サービカルカラー



・ NAR5021 NAR スパインボード II



使用上の注意

- ・ **レスキュースリーブ II** は必ず、使用法のトレーニングを受けた要員、もしくは医師の監督、指導下で使用して下さい。
- ・ 製造販売業者 / 製造元は当該機器の使用に伴う如何なる損傷、或いは障害の責を負うものではありません。使用者が本器の使用に伴う総ての有責義務を負うものであります。

【安全性の点検】

レスキュースリーブ IIはOSHA(Occupational Safety & Health Administration) (国際安全衛生センター) 及びANSI (American National Standard Institute) (米国規格協会) に準拠した強さ、高耐久性、高信頼性のあるデザインとなっています。その性能を維持し、安全に使用するためにはレスキュースリーブの全ての部品 (安全ベルト、装備品、その他の部品) をトレーニングを受けた検査員が定期的に本器の検査を行うことが大切です。検査の結果、不都合が発見された場合は直ちに使用を中止して下さい。

1. ベルトを自分の体の周囲に回し、ベルトを手前から15-20cm位離して、握り、端から端まで目視検査をする。
2. ベルトを体に対して逆U型に曲げて、布地の損傷、切れ易い箇所がないか。エッジの擦り切れ、布地の傷み、縫目の乱れ、化学変化、熱による損傷、溶解が起きてないか。
3. ウェイビング表面に接続しているバックル、金属リングには特に注意して点検する
4. 布地の網目が燃れたり、擦り切れたり、毛羽立っていたりしていないかを点検。
5. 金属リング、リングパッドに損傷、ひび、亀裂、エッジのざらざらや尖り等がないかを点検。
6. ビニールコートのナイロン、ナイロンベルトの表面に劣化、経年変化等がみられないか。
7. 熱、化学変化、熔融金属、煙、塗料等により損傷の原因となるサインが見られないか。
8. 担架ベッド部分が経年劣化、裂け目、糸の損傷が無いかを点検する。

| | |
|-------------|---|
| 熱： | 高温ではナイロンは脆くなり、褐色に色が変わったり、繊維がバラバラになったりします。 200°F(約93°C) 以上での使用はしないで下さい。 |
| 化学変化： | 色の变化に注意する。茶色の染み、汚れがないか。ベルトを曲げた時にひびがないか、弾力性があるかを点検して下さい。 |
| 金属やフレームの熔融： | ウェイビング鎖はくっ付いて、堅く、てかてかしたスポットになります。 ナイロンは耐火性ではありません。 |
| 塗料溶剤： | 塗料が中まで浸透し、乾燥すると繊維の柔軟性を損ねます。 溶媒中の乾燥剤は化学損傷となって現れます。 |

【日常の手入れ】

レスキュースリーブ IIIは全て過酷な状況にも耐えられるように丈夫にデザインされていますが、常に安全に使用するためには定期的に手入れをする必要があります。

1. 水を含ませ、軽く絞ったスポンジで表面の汚れを拭き取る。
2. 頑固な汚れは中性洗剤を含んだスポンジで取る。
3. 泡立てた洗剤で前後に動かして洗う。
4. 洗剤が完全に無くなるまで、ゆすぐ。
5. 清潔な布で各ベルトを拭き、中性洗剤でしみを除去する。
6. ベルトを吊るし、自然乾燥させる。(炎天は避ける。)
7. 完全に乾かしてから仕舞う。湿り気のあるうちは仕舞わない。
8. 清潔で、乾燥している、危険物のない場所に保管する。

レスキュースリーブ IIIは4人での搬送、ヘリコプターでの吊り上げ、水平移動に使用できます。ナイロンストラップがしっかりと繋がっていることが搬送中の負傷者の安全を確保します。